

# 農山村地域復興基盤総合整備事業 真野地区



**地区概要**

○所在地	南相馬市鹿島区
○面積	141.9ha (受益面積 220.5ha)
○工期	平成25年度～平成32年度(予定)
○事業費	5,357百万円(災害復旧費含む)

本地区は、福島県浜通りの北部に位置する南相馬市鹿島区に位置し、二級河川真野川の右岸に位置する水田地帯である。地区内は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による未曾有の地震と大津波により、かけがえのない尊い生命と財産、これまで築き上げてきた歴史的・文化的財産、地場産業、住宅、交通網など地域の社会的機能と共に農業基盤においても壊滅的な被害を被った。津波被災地の復旧と営農再開を加速化させるため、H25より災害復旧事業と東日本大震災復興交付金にてほ場整備に着手し、H28より災害復旧事業と福島再生加速化交付金にて事業を実施している。これまでに区画整理工事やパイプライン工事を進めており、真野地区の1日も早い営農再開を目指している。

## 主要工事

整地工	A= 140.4 ha	標準区画100m×125m、100m×150m
道路工	L= 22,344 m	幅 4/5 砂利舗装、アスファルト舗装
排水路工	L= 18,850 m	L型水路3600×1200～排水チューブ300×300
用水路工	L= 17,413 m	管水路工(塩ビ管等)φ600～100 他

## 工程表

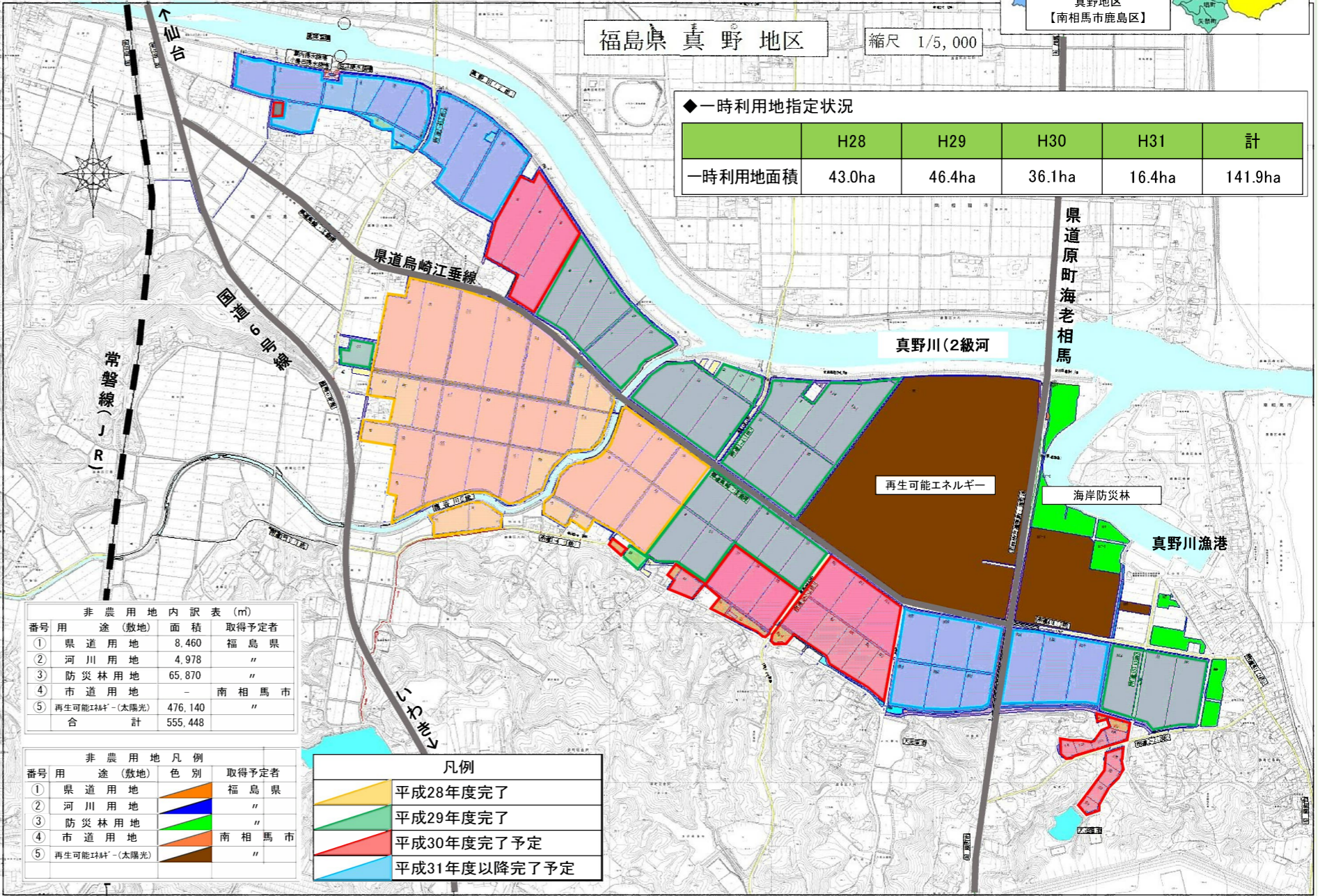
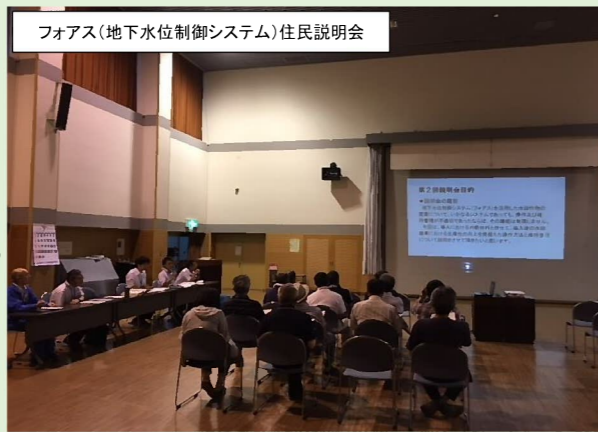
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
整地工	●→	●→	●→	●→	●→	●→
排水路工	●→	●→	●→	●→	●→	●→
道路工	●→	●→	●→	●→	●→	●→
用水路工			●→	●→	●→	●→
暗渠工				●→	●→	●→
事業費	200百万	1,282百万	1,152百万	550百万	1,060百万	1,113百万



**被害状況**  
 被害農地(田・畑): 15箇所【2,155,895百万円】  
 被害施設(道路・水路等): 18箇所【420,331百万円】  
 現在(H30.4時点)の状況  
 営農再開面積: 89.4ha(全体の63%)  
 作付け品目: 水稲(72.2ha)、大豆(17.2ha)

## フォアス(地下水位制御システム)の導入に向けた取り組み

現在、真野地区では水田の高度利用化を目指し通常の暗渠ではなく、フォアス(地下水位制御システム)を計画している。フォアスとは、田畑輪換を最大限生かすため、栽培品目に最適な地下水位を設定し、自動で給水や排水を行うシステムのこと。これにより、水管理の省力化が図られ、水田の高度利用を実現することが可能となる。また、東日本大震災により被災した真野地区の復興の起爆剤として期待される。



## 大区画化による営農状況

ほ場整備の実施により、ほ場の大区画化や用水路のパイプライン化などが進められている。今後、地下水位制御システムの施工が進められることで、水田の高度利用が行え、水稲に偏った農業ではなく、露地野菜の栽培も行えるほ場へするために、フォアスの施工検討を行っている。



## 未整備区域の農地保全

真野地区は、営農再開を見据え、福島県営農再開支援事業を活用して地元権者による農地保全(草刈り)が実施されている。また、沿岸部の津波被害が甚大であり、津波被災がれきの堆積が著しい箇所のガレキ拾いも実施されている。

